

I 調査の概要

1 調査目的

「青森県子ども・若者育成支援推進計画」の計画期間が平成 29 年度で終了することから、次期計画の施策の方向性を検討するに当たっての基礎資料とするため、若者自立支援のための実態把握調査を行う。

なお、平成 24 年度に実施した前回調査結果との経年変化を比較検討するため、調査対象、調査票項目等については、前回調査と同様とする。

2 調査対象・調査方法

(1) 本人及び保護者等（父母、兄弟姉妹、祖父母等） … A 調査

① 15 歳から 39 歳までの若者で職に就いていない者（学生を除く）

県内の相談支援機関を通じて調査票配付 各 400 人

② 高等学校中退後、概ね 2 年以内の者

県内の高等学校を通じて調査票配付 各 160 人

(2) 県内の相談支援機関等 … 【B 調査】

ニート、ひきこもり、発達障害、不登校、中途退学に関する相談担当者に対する調査票配付

① 公的機関：63 機関

※雇用分野・・・14 機関 ※保健・医療・福祉分野・・・・・・・・・・20 機関

※教育分野・・・16 機関 ※非行、矯正・更正保護等分野・・・13 機関

② 民間機関：15 団体

(3) 県内の高等学校 … 【C 調査】

不登校、中途退学に関する相談担当者に対する調査票配付

① 県立高等学校 63 校

② 私立高等学校 17 校

3 調査項目

(1) 本人及びその保護者等 … 【A 調査】

ア) 若者本人を対象とした調査

- ① 基礎的な項目
- ② 仕事・就職活動等の状況、職業・就職に関する考え方
- ③ 日常生活状況・経緯等
- ④ 相談状況
- ⑤ 意見・要望等

イ) 保護者等を対象とした調査

- ① 基礎的な項目
- ② 若者本人の就職状況
- ③ 若者本人の生活状況・経緯等
- ④ 相談状況
- ⑤ 意見・要望等

(2) 県内の相談支援機関を対象とした調査 …【B調査】

- ① 相談窓口における相談件数及び相談内容
- ② 相談を受け付けた際の対応のながれ
- ③ 他の相談支援機関との連携状況
- ④ 相談者の状況
- ⑤ 相談対応を行う上での課題

(3) 県内の高等学校を対象とした調査 …【C調査】

- ① 不登校・中途退学に至る生徒・家族の状況
- ② 不登校・中途退学への対応を行う上での課題
- ③ 相談支援機関との連携状況
- ④ 連携協力が必要とされる相談支援機関
- ⑤ 生徒を不登校・中途退学させないための対応策
- ⑥ 生徒の自立支援を行う上での課題、行政への意見・要望等

4 調査時期

平成28年12月中旬～平成29年1月上旬

5 回収結果

(1) 15歳から39歳までの若者（学生を除く）及びその保護者等【A調査】

- ① 県内の相談支援機関における調査票配布分
若者本人：168人、保護者等 130人
- ② 県内の県立高等学校を中退後、概ね2年以内の者に対する調査票送付分
若者本人：17人、保護者等 18人

(2) 県内の相談支援機関【B調査】

- ①公的機関：機関
※雇用分野・・・8機関 ※保健・医療・福祉分野・・・17機関
※教育分野・・・9機関 ※非行、矯正・更正保護等分野・・・11機関
- ②民間機関：4機関

(3) 県内の県立高等学校【C調査】

- ①県立高等学校 60校
- ②私立高等学校 9校